

あとがき

先日、久しぶりに共通テスト（旧・センター試験）に立ち会いました。幸い、天候に恵まれ交通機関のトラブルもなく、新型コロナウイルスの罹患者や濃厚接触者も発生せず、2日間滞りなく終えることができました。みんな、マスクをしたままで普段の実力を出し切れたかな？ 娘たちの受験を思い出すと胸がギュッと締め付けられます。政府は5月8日に新型コロナを2類から5類に移行する方針を決定し、マスクについても「屋内外を問わず、着用を個人の判断に委ねることを基本にするよう見直す」とのことです。卒業式ではマスクをしなくてもよいかもしれないけれど、受験の直前に新型コロナに罹患して折角の努力が水の泡になってしまわないか心配です。個人的には、当面、電車やバス、飛行機など、公共交通機関のなかでは引き続きマスク着用を続けてほしいなと思っています。

さて、試験といえば、耳鼻咽喉科の専門医試験で内視鏡画像を呈示された場合は、その疾患のことを全く知らなくても、選択肢のなかから消去法で正答に辿り着くことはできますが、日常診療ではそうはいきません。また、われわれの世代と違い、最近の専攻医は外切開の手術を経験せずに、内視鏡下で耳、鼻、咽頭、喉頭の手術を学ぶようになっています。目の前に見える構造物の裏に何があるのか？ 副損傷を未然に防ぎ、効率良く、安全・安心な手術を行うためには、内視鏡下手術に特化した解剖の知識が求められます。そこで、本特集では「内視鏡所見カラーアトラス 見極めポイントはここだ！」と題し、外耳道、中耳、鼻副鼻腔、喉頭・下咽頭、上咽頭・中咽頭に分けて、各領域のエキスパートに見逃してはいけない鑑別疾患や、内視鏡手術で肝となるランドマークの画像を取り揃えて解説していただきました。これから専門医を目指す先生、指導医を目指す先生は勿論のこと、クリニックで診療されている先生にもきっとお役に立つと思います。ぜひ、ご通読をお願いいたします。（丹生健一）

[編集顧問]

坂井 真
八木 聡明
竹中 洋
吉原 俊雄
小川 郁

[編集委員]

丹生 健一
鴻 信義
大石 直樹

本誌は1928年に久保猪之吉によって「耳鼻咽喉科」として創刊され、1988年に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改題いたしました。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第95巻 第3号）
2023年3月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：2,970円（本体2,700円＋税10%）

2023年年間購読料（増刊号を含む13冊、送料込）
冊子版/通常 43,626円（税込）
冊子版/個人特別割引 40,128円（税込）
電子版/個人特別割引 40,128円（税込）
冊子＋電子版/個人特別割引 45,628円（税込）

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」ホームページ
<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/411>

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710
（担当 鶴淵・安部）
販売・PR部直通 (03) 3817-5659
ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）
E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp
印刷所 三報社印刷(株)
広告取扱 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036
別刷取扱 販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

- ・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2023, Printed in Japan
- ・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
- ・本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- *「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」は株式会社医学書院の登録商標です。